

登 山

1 活動の概要等

高くそびえたち連なる峰々は、気高さと神秘さを感じさせてくれます。また、四季折々に変化する自然は、山の姿を変え、美しさの中にも厳しい姿を見せてくれます。

登山は、大自然の中にとけ込んで清らかな感動を味わうのに適した活動です。次のねらいを達成させるよう活動を進めてください。

- 大自然の中にとけ込んで、自然に親しみ、山についての知識を深め、忍耐力・協同・自然を愛する心情を培います。

2 時期・時間・活動場所等

コース	距離	標高	時間	標識番号
大土ヶ森 栗駒山	12.4 km	580.3m 1627.7m	6～7 1日	NO.1～27

3 準備

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
地図 無線 コンパス ゼッケン	活動に適した服装（長袖長ズボン） 雨具 帽子 軍手 弁当 救急薬品

4 実施例

<説明>

- ① 班編成、人数確認、服装・持ち物点検、健康調査等を行います。
- ② 活動のねらいを確認します。
- ③ コースの概要と注意事項を説明します。
 - ・危険箇所 ・危険な行動 ・危険な動植物 ・自然保護 等

<活動>

- ① 団体のねらいや実態に応じて、活動の方法を工夫します。
- ② 自然の愛護、環境保全に努めてください。
 - ・ゴミは山に捨てずに必ず持ち帰る！ ・植物、樹木を採取しない！
- ③ 常に参加者の状況について無線等で確認しましょう。
- ④ それぞれのコースや参加者の健康状況に応じて、休憩をとってください。
 - 〔大土ヶ森コース〕 NO.1～27と方向を確認しながら進みます。
 - 〔大森コース〕 NO.1～20と方向を確認しながら進みます。

<まとめ>

人数確認、健康調査をします。空弁当等のゴミを処分してください。

5 留意点

登山は大自然の中での活動なので、気象や地形など自然現象の影響を受けやすく、これに伴う事故の発生も予想されるので、安全管理について万全を期すため、次の事項に十分に留意し実施してください。

(1) 事前の準備

- 1 活動資料を活用し、プログラム担当職員と十分に事前打ち合わせ（一ヶ月前）を必ず行い、実地踏査で現地の状況を把握した上で計画を立ててください。
- 2 引率者の役割分担及び児童・生徒・学生等の班編成・係分担を明確にし、協力して安全に実施できるようにしてください。
- 3 児童・生徒・学生等の健康状態を十分に把握し、参加できない人の取り扱いについては指導者が付き添いの上配慮してください。
- 4 安全確保のため、装備についての事前指導を徹底してください。

(2) 活動に当たっての配慮事項

- 1 出発にあたっては、自然の家事務室に報告し、無線機を携帯してください。
- 2 活動は団体の責任において実施します。気象予報に留意し、天候の悪化が予想される場合は、自然の家職員と話し合い、思い切って中止しましょう。
- 3 児童・生徒・学生等の健康状態及び装備の点検を必ず行ってください。
- 4 出発後、天候の急変により雷雨等がひどくなった場合は、状況に応じて避難を適切に行うとともに、途中からでも引き返してください。
・雷情報等は緊急無線機で連絡するので、参考にしてください。
- 5 引率者は、先頭・中間・後尾に位置し、児童・生徒の人数や健康状態の把握につとめ、疲労した参加者がいる時は適切な看護を行ってください。
なお、事故発生の場合は、無線機による通報もしくは臨機の方法で適切に処置してください。
- 6 持久力を持たせるために、同一歩調で歩くことに留意しましょう。特に下山の時は、歩調や隊列が乱れやすいので注意してください。
- 7 登山コースは、国有林や民有林であるので、火気には十分に注意し植物等の採取はしないでください。
- 8 弁当等の包装紙は全て自然の家に持ち帰り、分別処理し、自然環境の維持に努めましょう。
- 9 コースの登り・下りでは落石のないように十分に注意してください。後からの登山者に向かって岩石を落とさないようにしてください。
- 10 マムシ、ハチ等に注意してください。

(3) 事後指導

- 1 登山終了後は直ちに自然の家事務室に報告してください。
- 2 人数・健康状態を点検し、必要に応じた休憩などの措置をとってください。
- 3 借用物品の点検を行い、確実に返納してください。
- 4 活動についての反省を行い、登山体験が生かせるようにしましょう。

[参考資料]

栗 駒 山

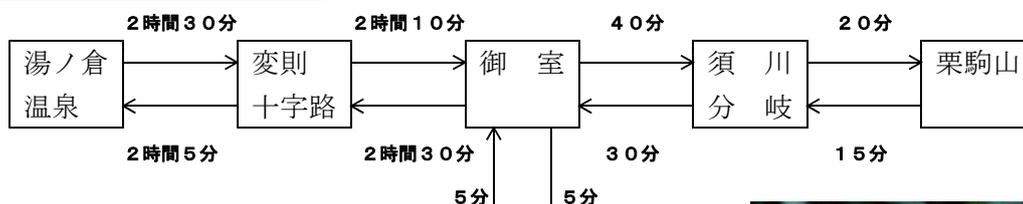
国定公園・栗駒山は標高1627.7mの、宮城県北部では一番高い山である。宮城、秋田、岩手の3県に跨るコニーデ型の休火山で、古くは須川岳、大日岳とも呼ばれ、高山植物の宝庫としても有名である。よく晴れた日の山頂からは鳥海山、早池峰山、秋田駒ヶ岳、太平洋が観望できるといわれている。

花山からの登山コースは、大原生林の中を行き、温湯から入る「大地森コース」で約7時間、お花畑を経由する「湯浜コース」は約4時間で山頂に着く。

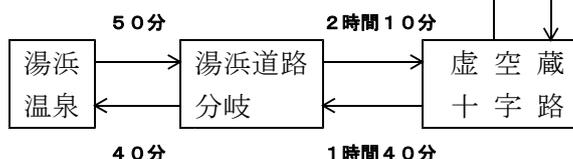
冬期間を除いて栗駒山中腹の「いわかがみ平」（標高約1200m）まで車で入れ、そこから歩いて中央コースを登れば、1時間半で山頂に達する。近くには、温泉（いこいの村栗駒、ハイルザーム栗駒、駒ノ湯温泉、くりこま荘）がある。「世界谷地」湿原の遊歩道は、四季折々の草花で登山客を楽しませてくれる。帰路は文字経由で「愛藍人・文字」で藍染めを見学できる。

<花山からのコース>

大地森（湯ノ倉）コース ……約7時間



湯浜コース ……約4時間



<世界谷地>

ブナの原生林の中に静かに眠る原生花園。標高700m、15haに及ぶ湿原地帯は高山植物の宝庫となっている。

特に、6月下旬、湿原一面に咲き乱れるニッコウキスゲの大群生は圧巻である。